

おおいた姫島 黒曜石フォーラム

12月7日・8日両日に大分県姫島村で行われた黒曜石フォーラムに参加して来ました。

姫島と隠岐は上質な黒曜石が取れる産地として有名であり、そのつながりとして今回招待して頂きました。

フォーラムでは、青柳正規氏（文化庁長官）、尾池和夫氏（日本ジオパーク委員会委員長）による講演や地元小中学生の学習発表などが行われました。私たちも隠岐の黒曜石を使った矢じり作りの実演を行ったところ、とても好評でした。また、姫島の黒曜石は色が薄く黒というよりは灰色（グレー）に近く、同じ黒曜石でも場所によって様々な表情を見ることが分かりました。今後は隠岐で黒曜石フォーラムを開催出来たらと思います。



こうした機会には、他地域と共に、ポスターを使ってジオパークのPRをします。



矢じり作りの実演

モンベルフレンドフェア（横浜）

11月28日、29日は、パシフィコ横浜で「モンベルフレンドフェア2014秋」が大阪に続いて開催されました。隠岐世界ジオパークは今年からアウトドア用品ブランドのモンベルと提携して、シーカヤックや山歩きガイドなどを宣伝しています。

隠岐のブースでは、ジオパークのパンフレットを配布したり、映像の上映、黒曜石の体験を行いました。体験には小学生以下の子ども達が沢山訪れ、ストラップや矢じり作りに夢中に取り組んでいました。他の地域では産物を販売したり、利き水をしたりするコーナーがあり、とても人気でした。



隠岐のブースでの様子



会場には、子ども達の体験用でロープを伝って登ったり、プールでカヤックをしたりするコーナーがあります。アウトレット用品の販売、飲食店もあり、家族で楽しむ様子が見られました。

レンジャー通信

「第5回パークレンジャー講座を開催しました！」

11月30日（日）に、国立公園の自然をサイクリングで体感するイベントを開催し、約20名にご参加いただきました。小雨のぱらつく中、約40kmのロングライドを楽しんだ皆さんからは、「楽しかった！今度は島前でやりたい！！」といった感想が寄せられました。



● 国立公園のこれからを考える会（第2回）開催！」

隠岐の海岸に堆積する海岸漂着ごみについて、ごみ対策の全国ネットワークを運営されている有識者（一般社団法人 JEAN）から話題提供していただきながら、意見交換を行います。事前申し込みは必要ありませんので、お気軽にお越し下さい。

1月15日（木）14:00～16:00 西ノ島町黒木公民館

● 「島の環境会議～もう一度、環境から観光を考える～（仮称）開催！」

国立公園や隠岐世界ジオパークに認定された隠岐のすばらしい自然環境を活かした、持続的な観光のあり方に関するシンポジウムを開催します。事前申込制です。詳細は当事務所又は海士町観光協会までご連絡下さい。

1月31日（土）14:00～17:30 マリンポートホテル海士

※お問合せ先：隠岐自然保護官事務所（08512-2-0149）

島に春を呼ぶ「今津のどんど」

隠岐の島町

新春の行事といえば、正月飾りを燃やして無病息災や五穀豊穡を祈願する「とんど焼き」が有名ですが、「今津のとんど」は、その勇壮さにおいて他に類を見ません。

1月15日の早朝、今津漁港では、竹で作られた巨大ヤグラ(約15メートル)に正月飾りをつけて火をつけます。ヤグラが燃え上がり海に倒れると、若者たちが下帯一つで厳寒の海に飛び込み、神木(竹)を奪いあいます。炎に包まれる巨大ヤグラ、厳寒の海に飛び込む若者たち…この勇壮な行事も、若者の減少により維持が大変ですが、地域の人たちの情熱がしっかりと支えています。



「鍋の季節」

マルチワーカーの目から

海士町

隠岐の冬は風が強く厳しいと聞きます。そんな寒い冬だからこそあったかいお鍋が楽しみになります。冬は魚にも脂がのり、鍋の具には最適です。

海士町には「しゃん山」というお店があります。「しゃん山」とは海士町の方言で菜園という意味です。お店には各家庭のしゃん山から集まった旬の野菜が並び、こちらもお鍋に合いそうな顔ぶれが揃ってまいりました。海は勿論、「天川の水」という名水が湧いており、畑も田んぼも豊かです。そのため、島の食べ物だけで食事を完結することができず。そんな大地の恩恵を受けた食材で作ったお鍋を食べられると思うと、寒い冬も楽しみになる今日この頃です。



キンニャモニャセンター内の「しゃん山」

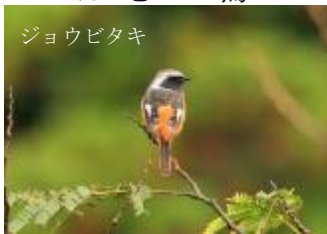
よく目立つ冬の渡り鳥

西ノ島町

12月に入り、寒さもずいぶん厳しくなってきました。この時期、渡り鳥は冬を越すために南下します。今回はそんな渡り鳥の一種、ジョウビタキについてご紹介します。

ジョウビタキは春から夏にかけて、シベリアなど日本より北の地域で子育てをします。ですが、秋になると日本を中心とした南の地域に渡って越冬します。背中白い紋が目立つので「紋付鳥」と呼ばれることもあります。庭先に訪れて植木の実を食べ、尾を上下に振りながら「ヒツ、ヒツ」と甲高い声で鳴いているため目立ちやすく、野鳥が好きな人にとっては馴染みのある冬の鳥です。西ノ島では10月頃に飛来し、翌年の3月頃まで見られます。最近、日本海を一気に越えて日本へ来てい

る可能性が高まってきました。この冬、庭先に来る鳥に気をつけて、ジョウビタキの姿を見つけてみませんか？



ジョウビタキ

知夫イルミ

知夫村

11月29日(土)に大江(おおえ)地区において、「知夫イルミ」が設置されました。大江地区の太陽橋から仁夫(にぶ)方面の道中に街灯がなく、夜道が危険ということもあり、昨年から設置されています。今年は街灯が取り付けられていましたが、老人ホームから見られるなど好評で、引き続き同じ場所で設置し、長さを更に伸ばし、アーチ型の物も設置し、約200mのイルミネーションとなりました。午前中に草刈など清掃をして、午後から業者や子供たちと一緒に取り付けました。夕方5時30分から点灯式を行い、子どもを含めて約40名参加しました。点灯は1月上旬までを予定し、夕方5時から午後10時までとしています。



作業の様子

隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。



☎ (08512) 2-9636

FAX (08512) 2-9626

メール info@oki-geopark.jp



隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口2-4番地
(隠岐支庁3階 県民局内)